

水は命・河童は心

かっぱ新聞

発行所
河童連邦共和国
〒113-0022
東京都文京区千駄木3-25-7-903
電話 03(3828)3054
郵便番号 00140-8-12901
©河童連邦共和国2005年

隠岐の島へどうぞ

河童サミット開催地から「あいさつ」

隠岐の島町長 松田 和久



「第26回河童サミット日本海」がわが町、島根県隠岐の島町で開催されることとなり、厚く御礼申し上げますとともに、こころより歓迎を申し上げます。

さて、隠岐島は、昭和38年に大山隠岐国立公園の指定を受け、豊かな自然環境にあつて、悠久の歴史と伝統文化が脈々と生き続ける島です。今話題の「竹島」も本町に属する島で、本町の北西方向15.7kmに位置しています。

隠岐諸島は太古の昔、ユーラシア大陸から分離して日本海とともに誕生し、現在に至るまでの多くの過程の痕跡を示す地質・地層・岩石を観察することができます。また、暖流寒流の影響を受けることによって、様々な生物・生態系を残し、更に文化遺産や遺跡も多数存在します。それらが保存・活用されていることが認められ、平成21年には、隠岐全体をエリアとする「隠岐ジオパーク」が日本ジオパークに認定されました。現在は世界ジオパークの認定に向け取り組んでいるところですが、

また、隠岐は岩牡蠣、バイ貝など、海産物に恵まれており、日本海の幸を楽しんでいただけるのではないかと思います。

参加されます皆様には、雄大な自然と島の文化をご堪能いただきながら、かっぱ伝説による交流を深められ、島を満喫していただければ、望外の喜びであり、皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

隠岐島の概要

(ホームページより)

島根半島の北方、40〜80キロの日本海に浮かぶ隠岐は、住民の住む4つの大きな島と、他の約180の小島からなる諸島です。円形で最も大きな島を島後、西南方向の西ノ島、中ノ島、知夫里島の3島を島前と呼びます。総面積は350平方キロで、人口は約2万3千人です。

昭和44年に、それまでの4郡1町11村が隠岐郡一郡となり、現在の町村

第26回・河童サミット日本海(大山・隠岐)
〈水と自然と文化の調和〉

開催日 平成25年
6月8日(土)・9日(日)・10日(月)
主催 河童連邦共和国
申込締切は5月10日(金)

数は、隠岐の島町、海士町、西ノ島町、知夫里の3町1村です。

隠岐は、国賀海岸や白鳥などに代表される雄大で美しい自然景観を誇っています。また暖流と寒流が交差するため、オキシヤクナゲやナグランなど特有の花や希少植物が豊富で、学術的にも貴重な地域です。

のは、今回が初めてではないのだよ。前回は、約6650万年前の事だ。その頃、地球を我がもの顔で闊歩していた恐竜たちを、地球の為にならない生物として抹殺したのだよ」

「え、え、河童の屁爆弾で・・・」

「そうだよ、喜八さん。この河童の屁爆弾を今のメキシコのユカタン半島に向け発射し」

「えー、それで恐竜が絶滅!!!」

「そうだよ、喜八さん。そして：今、人類は、その恐竜たちとも比べものにならない程凶暴で危険な生物なのだよ：それでね：」

「えーえー、ちょっと待っててください」

「喜八さん、人類が皆、君のような生物なら良かったのだが、残

念だ」

そして「君は知りすぎた」と言い、自分の尻に手をあて、そこにざりつ尻をかかされた私は気絶してしまったのです。

…気が付くと：元の浅草かっぱ橋の交差点。いつものように車なども行き交い、人々もざわめいているのでした。

「あれー、どうしたんだらう。どうしてここに居るのだらう？」

「師匠、何処へ行っていたんですか」

「お前さん10年も何処へ行っていたんだい、心配したよ」

「誘拐されたと思いましたがどうせ愉快犯だと思いましたがね」

「ああ、そうだ、私は落語家だったんだ」

ぼーっとする頭で、

落語家らしく一つオチを考えました：

「誘拐：うーん、河童だけに皿割(さらわ)れて困った」

おしまい：おそまつさま。

隠岐へのご縁

名誉顧問

田辺 達也



今年の河童サミットは、日本海域の隠岐(島後)と大山(米子・境港)をリンクする大きな催しです。

上げ潮に乗る大山隠岐かっぱ村の意気込みと、千代むすび酒造さんのご支援を心強く思います。

わたくしには、これ

まで米子に3度、境港に3度、隠岐には2度訪問の不思議なご縁に加え、賢沢に、日野川流域路査や名和氏ゆかりの伯耆散策もあります。

そのころお付き合いの始まった河童族とは、年賀状や資料のやり取りが今もつづいており、この人脈は大事な宝物です。

隠岐の島へは、2回とも日本海からのラブコールでした。

最初は1996年10月―「全国かたりベサミットin隠岐」を、《隠岐と河童伝説》のテーマで競いました。舞台は、樹齢2千年の八百杉で知られる隠岐総社の玉若酢命神社でした。東北は遠野から、九州からは八代でした。遠野は女性の語り部でしたが、見事な話

芸に舌を巻き、伝承文芸の立ち後れを痛感しました。

二回目は2001年8月―隠岐の島文化会館と、八尾川かっぱ公園で開催された「隠岐・島後かっぱ交流会」です。わたくしは「九州のかっぱ王国と河童たち」と題し講演しました。

このとき、隠岐かわこ(河童)の語り部「唐人屋」のご当主、松岡豊子さんと歓談することができ、資料もたくさん頂きました。街おこしリーダーで歴史と民俗に精通する西郷町の斉藤一志さんや、「奈良屋」の松本悦夫さん・佳都子さんご夫妻には、西郷港―八尾川流域散策、太平記ゆかりの史跡めぐり、海の民俗資料館見学など、大変お世話に

なりました。

隠岐の民話なら、海の道を自由に往き来していた古代、渡来人「木の葉人」や「海土」の物語。伝説なら、河童封じに秀吉拝領の刀もからむ「唐人屋のカッパ・福かっぱ大明神」を楽しまました。唐人屋と浅草曹源寺の河童縁起の類似から、双方の交流や説話の回遊に驚いたものです。

北前船の船頭さんと、島娘の恋物語でしようか。民謡「しげさ節」と「しげさ踊り」に、天草・牛深発のハイヤ節と、二重写しのロマンを感じました。

隠岐へ行くなら、日本生まれのカナダ外交官ハーバート・ノーマンが「隠岐の事件は、明治維新後、数年間における日本の経験の縮図である」と書いた、

隠岐島民の武力蜂起と

世界で初めての自治政府樹立という、フランソワのバリ・コンミュージンに比定される激動・重厚な近代史を学ぶ余録もありそうです。作家・翻訳家の松木侑子さんの近著「神と語って夢ならず」(光文社)が話題になっており、前出、斉藤さんは取材に協力しています。

松岡豊子さんには、是非再会したいものです。

隠岐に限定しましたが、日本海サミットには魅力いっぱい。

九州からエールをおくりまします。(河童共和国大統領・八代市)



河童

かっぱ

カッパ

村だより・国だより

◆国立歴史民俗博物館

(佐倉市・3月30日)

第4展示室が新装オープンし、特別展が開催されている。最新の民俗学研究成果や社会の変化を反映させる展示を行っている。

現代の民俗文化を紹介するコーナーに河童の模型と展示パネル映像などがあり、子供たちの人気の場所となっている。

ギャラリートークでは人間の営みの様々な目線から3つのテーマを取り上げ、分かり易く解説されていた。

東日本大震災と気仙沼の生活文化を、古民家を復元して被災の状

況がリアルに表現されている。

佐倉市には何度も来ているが、今回は京成佐倉駅前の民芸品店と和菓子のお店の奥に古美術を展示した土蔵の入口で、初めて河童に遭遇した。河童と偶然に出会うとは奇妙なものです。(編)



◆三丁目の夕日観賞会

3月23日、東京では桜が平年より10日以上も早く満開となり、都内各地の名所は花見客

で賑わいました。

しかしあいにくの花曇りで、夕日の観賞の方は半ば諦めておりましたが、夕刻になると太陽が現れ、夕日を目当てに集まった20名の河童さんはカメラを持って撮影場所の歩道橋へ。

おいてけ堀の名物イペントとなるよう、9月のお彼岸にも計画しているようです。

夕日撮影の後は山本村長の居酒屋へ、キヌウリをつまんで陽気な河童の懇親会となりました。(編)



河童百話

(各地の伝承シリーズ)

河童大学かっぱ村佐々木篤村長提供による、河童の民話シリーズです。民話は民衆の生活の中から生まれ、民衆によって伝承された説話です。大きく分類すると昔話、伝説、世間話に分かれるようです。これからのストーリーは事実であるかもしれないし、信じられないこともありません。

鶏足寺池の河童

各地の伝承シリーズ

その4

橋木益子町

鶏足池に住む河童の太郎を見かけ、だましてからかってやろうと思った白タスキの花子は、河童の少女に化けて池に現れました。その姿が、あまりにもかわいらしかったので、タスキが化けているものとも知らず、太郎はすっかり好きになってしまいました。

ある日、河童に化けた姿で、人間につかまり、いじめられている花子を、怪我をしながらも、命がけで助けた太郎でした。

助けられた花子は、心から感謝しましたが、河童に化けてからかっていたとは、とても白状できず、恥ずかしくなって山に帰ってしまいました。

それからです。池のほとりに、さみしそうにたたずむ太郎の姿が毎日のように見られる

ようになったのです。

仲間の河童達からは、「太郎のやつ、まだ、白タスキにだまされてるよ」。陰口を言われていましたが、実は、太郎も、花子が白タスキであることに気がついていたのでした。

それでも、花子に会いたい、太郎でした。

解説・河童がタスキにだまされる、あまり例を見ないシチュエーションの伝承です。

河童大学 佐々木 篤

工事を手伝った河童

各地の伝承シリーズ

その5

東京都浅草

文化年間(1804

17年)、合羽橋近

くに屋敷のあった伊予新谷藩の侍や足軽が、内職に作った両合羽を、元締めとして集め、売って財をなした合羽屋喜八(川太郎)は、水はけの悪さに困窮する付近の住民を見かね、奉行所から許可をもらい、私財を投じて掘削工事を始めた。

ところが、専門的な土木工事を差配する頭もおらず、ほとんど素人の工事だったこともあり、なかなか進まない。困り果てていると、隅田川に住む河童たちが、見かねて協力を申

し出て、無事に工事を完成することができた。そこで、合羽橋の名称を、かっぱ橋に改め、地域のシンボルが河童になった。

解説・合羽と河童の話呂合わせ。男気の合羽屋川太郎。いかに、も、粹人ヒーロー、助六が住んだ、江戸下町の華、浅草に住む江戸っ子が、好きそうなテーマが並ぶ伝承ですね。

河童大学 佐々木 篤



◆河童の国のおとぎばなし



河童のルーツは日本古来のものと、海外から渡来したものと意見が分かれています。更には宇宙人との説もあります。これは、現在の河童の国に伝わるおとぎ話です。

はるか昔の2千万年前頃、何故かユーラシア大陸の東部臨海地域の温暖湿潤な水辺に、河童が居住していました。地球上に人類が誕生したのは400〜500万年前ですから、かなり古い時代です。その頃の日本列島はユーラシア大陸の一部分でした。地殻変動の繰

り返して現在の日本海が出来上がり、海洋を隔てて島嶼群となりました。その初め、水深の浅い対馬海峡は、閉じたり開いたりを繰り返していました。日本列島が大陸の一部分であったことは、地質学上からも植生の同一性からも科学的に明らかです。日本海が出来上がる頃には、往來の道筋は海洋で隔てられました。先を見越した河童の大部分は、生活環境に恵まれた今の日本列島に棲むようになりました。

ところで大陸に残った一部の河童は、日本に棲む仲間を求める気持ちが強くなり、一斉に南下して台湾を経由し九州に上陸しました。土地の状況は大陸とは異なり、仲間の河童が暮らす地域が容易に見つかりません。すぐ

に安住の地を探したのもあれば、北上しながら流浪し、各所に点在する仲間と出会い暮らすようになったのです。本来ユーラシア大陸に群れ棲んでいましたが、自然現象による分断で生態系が大陸型から変化して、種の異なる個体が出来上がったのです。

河童のルーツは元来一つで、長い変遷の過程を経て子孫が進化を繰り返したのです。肌の色が赤色系と青色系、または体毛に覆われた河童が存在するのはそのためです。

地球上では人間よりも先住民である河童の寿命は400〜500年で、人間の5〜6倍長く生きています。

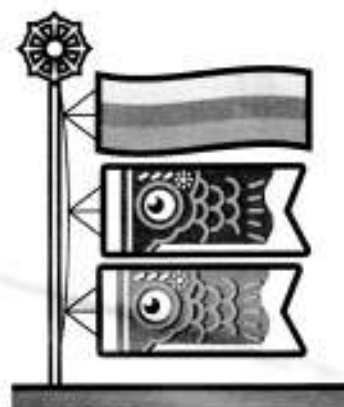
河童は未来への夢とロマンをもっています。人間より長い期間環境変化を見据えています。

から、生き抜く術を把握しています。河童は西暦800年(平安時代)頃から、日本の文獻に出てきます。

河童の存在を民俗学の立場から研究する人もありますが、人間が勝手に想像して民話や伝承を創作し、恐ろしい妖怪の悪者であったり、時には超能力を与えたりしています。寿命の短い人間が一時的に興味本位に擬人化した、可愛い河童をイメージしたキャラクターで宣伝にも利用されていますが、全く迷惑なもの

です。

今、河童は人間と暮らすことに便利さを覚えて身近に存在していますが、人間と共存して生活する水辺環境はますます悪化しています。最近ではPM2.5や、放射能による影響で大気は著しく汚染されています。河童は地球には住みにくくなっています。これでは人間とは共生せずに、安らかな生活環境を求めて地球ではなく、宇宙のどこかへ行ってしまうでしょう。(編)



かっぱ山柳

コーナー



◆祝サミット

小結昇進

隠岐の海

◆水ありて

木育ち菜も

しげるなり

(スプリング・マン)

川柳コーナーでは皆様
の作品を募集中です。

遠草かっぱ村 蘭後 蘭えつお画

水辺

河童と白ウサギ

遠い昔のことです。

神話の世界では、神様によって、今の日本海に、人が住めるような大小の島からなる日本の国土が創られました。その後の歴史の歩みをみますと、日本海が文明発信のふるさとに思えるのです。

孤立した小さな島国ですが、ユーラシア大陸の文化や慣習が日本海を介して様々な形で受け入れられ、独自の文明や生活環境をつくりだしているのです。日本海沿岸地帯は、外来の人知や物資を受け入れた表玄関でした。

出雲神話で有名な、因幡(いなば)の白ウサギは、よく知られた話です。因幡は今の鳥取県で、沖

の島(隠岐の島)にいた白ウサギがワニ蛟を騙して本州に渡ろうとして失敗し、ワニ蛟に皮を剥がされてしまいます。そこを通りかかった神様に、海水を浴びて風当たれば良いと教えられた白ウサギがその通りにしたところ、痛みはひとくなるばかりです。後から現れた大国主神は白ウサギに同情して、体を真水でよく洗い、そして蒲(がま)の穂糠にくるまっつけていれ、ばすく直ると教えます。そして、嘘で欺いてはならぬと戒めて反省させるわけですが、大国主神は医療の神ともされています。

このストーリーの白ウサギを倭の国に渡来しようとして苦心してやってきた異国人とすると、外敵から身を守るにも、広く受け入れる気持ちの大切さを教えているように思えます。

更に白ウサギを河童に置き換えてみます。河童が世間に悪さをして神様の怒りに触れますが、改心し外科治療の妙薬を神様から教えられます。今度は河童が人に危害を及ぼし懲らしめられたとき、恩返しに人にこの秘薬を伝授するという筋書きは、全国各地の河童の民話にでています。

後世の民話や伝説は、神話や記紀の延長線上にあるでしょう。

(T・H)

大統領府事務局からのお知らせ!

◆平成25年度の国税(会費)納入方、よろしくお願ひ申し上げます。

新たに河童連邦共和国の国民になられた方々

- 松本 禮子
(千葉・浦安 ふるさと浦安かっぱ村)
- 鴨田 大
(京都・京都 河童大学かっぱ村)
- 石井 克己
(千葉・いすみ ふるさと浦安かっぱ村)
- 廣田 隆雄
(千葉・浦安 ふるさと浦安かっぱ村)

国民大募集

河童に関すること

日本一の河童集団

河童連邦共和国

TEL/FAX: 03-3828-3054

河童なんでも
相談室



河童連邦共和国の名刺(水色で河童マーク入り)の注文承ります! 百枚入りで三〇〇〇円(送料込)。原稿を添えて大統領府事務局まで!

本紙掲載記事・図等の無断転載・転写を禁じます。

次のカッパ新聞は7月7日です。